

利用学習計画書

平成25年5月8日
担当 第6学年 村上 智英子

- 1 ねらい
縄文時代の自然環境や人々の生活、社会の様子について、身近な遺跡の見学や体験を通して関心を持ち、調べる。
- 2 評価
縄文時代に関心を持ち、人々の生活や社会の様子について進んで調べることができる。
- 3 学習活動について
 - ・教科 社会科『米作りのむらから古墳のくにへ』の発展教材として
 - ・身につけさせたい力
見学や体験を通して調べたことをまとめたり表現したりする活動によって、人々の生活や遺跡の意味について考えることができる。
- 4 事前指導
 - ・社会科『米作りが始まる前の時代』・・・縄文時代についての知識を確認しておく。
 - ・活動内容や見学、体験学習の際のマナーの確認をしておく。
 - ・縄文の森広場の概要について説明し、関心を持たせる。
- 5 当日の指導（活動）内容
 - (1) 縄文の森広場
 - 1) 見学学習
 - ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定。
 - ・探検シートを利用して自主学習をし、わからないことは見学後にまとめて質問をする。
 - 2) 体験学習
 - ・土器作り（100円）
 - ・勾玉作り（100円）
 - (2) 地底の森ミュージアム
 - 1) 見学学習
全体で館職員の説明を聞きながら学習（学習ノート利用）
 - 2) 体験学習
石器作り
- 6 当日の交通手段 貸し切りバス
- 7 事後指導
見学・体験してわかったことや感想をまとめる。

利用学習報告書

平成25年6月25日
担当 第6学年 村上 智英子

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・平成25年 5月16日(木) 5校時
- ・平成25年 5月20日(月) 5校時
- ・平成25年 5月23日(木) 5校時

(2) 主な内容

- ・社会の授業で探検ノートや体験活動の作品をもとに、学習を振り返る。
- ・社会の授業で各自の課題をもとに学習したことのまとめを作成する。

2 送付する資料

児童生徒の作成資料 (新聞 4名分)

縄文時代のくらし

縄文時代の人々は、たてあなしき住居」といって家を建てていました。たてあなしき住居とは、木を打ち込んで土をこねてつくる、地面より低いところにある家です。これは、地面を低くして家をつくったからで、今の家よりも低く、穴を掘って、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。そして、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。そして、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。

縄文時代の人々は、たてあなしき住居」といって家を建てていました。たてあなしき住居とは、木を打ち込んで土をこねてつくる、地面より低いところにある家です。これは、地面を低くして家をつくったからで、今の家よりも低く、穴を掘って、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。そして、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。そして、たてあなしき住居」の屋根が、低いところにあたりました。



縄文時代の人は、たてあなしき住居」のまわりには、いろいろな動物を飼っていました。猪、鹿、熊、鳥、魚、などです。また、土器もつくりました。土器は、土をこねて焼くことでつくります。縄文時代の人は、たてあなしき住居」のまわりには、いろいろな動物を飼っていました。猪、鹿、熊、鳥、魚、などです。また、土器もつくりました。土器は、土をこねて焼くことでつくります。

縄文時代の人の活動
5月31日
金曜日

縄文時代の人の活動
縄文時代の人は、たてあなしき住居」をつくり、生活していました。彼らは、自然の恵みを大切にし、生活を営んでいました。



家のまわりには、いろいろな動物を飼っていました。

道具

土器のつくりかた
土をこねて、丸くして、焼く。

木のつくりかた
木を切ると、丸くする。

石のつくりかた
石を削ると、丸くする。

